

平成29年度 第3回 加賀市健康福祉審議会 障害者分科会 資料内容についてのご意見・ご質問

No.	該当箇所		ご意見・ご質問の内容
	ページ	項目	
1	P1～ P12	計画の基本的事項	病気やケガにより障害を被った人に対する、施策や方向性が示されていないのはなぜか？
2		その他	第5期計画では、障がい者・障がい児・中途障がい者別の対応指針等を描く必要性があるのではないか？
3	P39、 P72～ P73	医療的ケア児の支援体制	協議会の設置、コーディネーターの配置、対応可能な事業所の整備は大切なことでありぜひ進めてほしい。ただ、例えば、現状で配置されている学校看護師の業務範囲は限定的であるが、そのことに関して当該学校以外ではほとんど知られていない。看護師がいるのだから何でもできると思われると言っても過言ではない。したがって、協議会の運営にあたっては、何ができて何ができないといった共通理解から始め、慎重に進めていただく必要がある。また、内容によっては教育支援委員会（市教委所管）と十分連携していかねばならないことを知ったうえで運営にあたる必要がある。
4	P40	障害者の一般就労について	就労につく能力や意思があり、就労につくが、企業側の理解、状況にあわず、やむを得ず休職、退職とのことで就労を継続していくのが難しい。企業側も就労につく側も相談できる場所、人材が欲しい。企業側から話を聞く機会があり、おっしゃっていたのは雇い入れたはいいが、どう扱っていいのかわからない。声掛けの仕方がわからずに、仕方なく「そこに座っててください」といったような職場のスタイルになってしまっている。周囲の職員には（忙しいのにぼんやりしている）とよく思われられないような状況だとのこと。障がい者側も、職場でのやる気がそがれるし、何をしたいのかわからないといった状況は、精神不安を引き起こす原因になる。ほっておかれるのも差別だとわかってほしい。適切な就労サポートをしてもらえる事業をお願いしたい。それも、困っているとき、相談したいときに、即戦力で動いてくれる場所が欲しい。

No.	該当箇所		ご意見・ご質問の内容
	ページ	項目	
5	P41、 P63～ P65	福祉的就労の充実、 日中活動系サービスの見込み量	資料にあるとおり、日中活動系(特別支援学校でいう福祉就労)はニーズが増加しているが、現状では何とか特別支援学校卒の行先は何かあるものの、それがいつまで続くのか不安がある。今年度の実習のあとの感触を見ると、施設面や人的面からの受け入れの難しさといった言葉が聞かれるようになったことに危機感をおぼえている。就労系サービスだけでなく生活介護などのサービス提供体制の強化は急ぐべきと考えます。
6	P34	(3)相談支援・情報提供	障がいのある人が、住みなれた地域で安心して生活していくためには、障がい者を理解して話合いの出来る相談員を、各地区に配置する事が重要なことだと思います。 現在、障がい者相談員が、17人配置されていますが、まちづくり推進協議会との関係はどうなっていますか。地域に入り、具体的活動する相談員としての位置づけになっているのですか。
7	P44	見守り支えあいネットワークについて	現在、要支援者名簿に障がいのある人が何人登録されていますか。
8	P45	③防災・防犯対策の推進、 加賀市地域見守り支えあいネットワーク制度の推進	障がいのある人の情報等が記載された名簿の提供は、見守り支えあいネットワークの要支援者名簿のことですか。
9			見守り制度の説明と名簿への登録勧奨はだれがしているのですか。
10	P63	廃止休止されている就労移行支援事業について	昨年6月の時点で、新規参入や事業再開の働きかけをするとあったが今現在は、やはり無い状態。どうなっているのか？ 今後の見通しはどうなっているのか？ くらし就労サポート室が今後、就労サポートを担っていくのか？ また、ジョブコーチの役割を行う方が用意されているのか？

No.	該当箇所		ご意見・ご質問の内容
	ページ	項目	
11	P66	2 障害福祉サービスの見込み (3) 居住系サービス ③平成32年度までのサービス見込量	グループホームの見込み量については、こういった考え方のもとで、この数値になっているのか、ご教示願いたい。
12	P67	2 障害福祉サービスの見込み (3) 居住系サービス ④サービス見込量確保のための方策	高齢の障がい者で、精神科病院から地域生活に移行する方が相当数いると思われる。例えば、居住系サービスの基盤整備については、高齢者お達者プランとの整合性を図る必要があると考えられるが、お達者プランにおける高齢精神障がい者の見込み者数と今後どのような連携を考えているのか、具体的にご教示願いたい。
13	P69	2 障害福祉サービスの見込み (4) 相談支援 ③平成32年度までのサービス見込量	精神科病院からの退院見込み者数が示されていないが、退院後に受け皿となる居住系サービス等の基盤整備や地域移行支援において、退院者を見込んでいるのかご教示願いたい。
14			他方、比較的短期間で、入退院を繰り返されている方々を地域相談支援（移行支援・定着支援）により担えることで、地域での生活が安定することも想定されるが、想定されている地域移行者数には、そういったケースも含まれていると考えて良いのか、ご教示願いたい。

No.	該当箇所		ご意見・ご質問の内容
	ページ	項目	
15		加賀市医療センターの対応について	<p>先日、自閉の傾向のある児童が、受診した際恐怖心から、大きな声をあげて、その場から逃げ出そうとし、母親も大変な思いをして、なんとか診察室に入ったそうなのだが医師から「こんな子は、どこの医者も診れるところがない」、「まず、医者にかかれるようにしてから連れてくるように」と、言われたとのこと。</p> <p>市民のための病院で、あまりの言葉だと思います。暴れる子供を診るのは大変なことだと思いますが、それでも、待ち時間の配慮、適切な声かけを理解していれば、このような言葉で済ますことはなかったのではないのでしょうか？</p> <p>各機関での、理解の推進を市の福祉課としてお願いしたいです。</p>